

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## @web

# 第70回

2022年  
7月16日(土)  
15:00 ~ 17:00  
ルームオープン: 14:40

**Zoomにて開催!** **参加無料**

★メールでのお申し込みが必要です。  
Zoomの参加URL(ルーム番号とパスワード)をお送りします。  
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

## ウクライナ侵攻を考える1 オデッサを伝える

報告者: 和田達朗(フリー通訳)

ナビゲーター: 武隈喜一(テレビ朝日コメンテーター室)



菜の花畑と青空

オデッサ郊外の典型的な風景 «Южный Дозор» Webサイトより <https://odessa.dozor.ua/>

## 2月24日、ロシアがウクライナに侵攻

今回の桑野塾は、オデッサ(オデーサ)で翻訳通訳の仕事をしていた和田達朗氏を迎えて話を聞く。

和田氏は、ロシア人でウクライナ国籍の妻と、3才の子供との3人家族。ロシアの侵攻をうけて3月に日本へ帰国した。現在もオデッサのいまを伝える情報を発信しつつ、同じくウクライナから避難してきた家族の支援などを行っている。

侵攻前のオデッサでの生活、戦争下のオデッサ、避難、そして今のウクライナからの避難民の生活——報道の現場で日々この状況を見続けている武隈喜一氏をナビゲーターとして、いろいろな立場から今回の問題をどうみるのかを考える場としたい。



オデッサで有名な「ボチョムキンの階段」  
(2021年6月撮影)



猫とハリネズミ ダーチャ生活の一コマ  
(2021年6月撮影)



戦争が始まり地雷原と化したビーチ

«Одесская Жизнь» Webサイトより <https://odessa-life.od.ua/>

### ●和田 達朗(わだ たつろう)



1984年生まれ。早大露文卒業後、ロシア国営ラジオ「ロシアの声」(現「スプートニク」)モスクワ本社勤務。現在はフリーの翻訳・通訳者。  
2019年に妻の故郷オデッサに移住、2022年3月に戦禍を逃れ帰国。  
「何丘ブログ」にてオデッサ情勢を発信中(<https://nanioka.com/news-odessa-wartime/>)。出国の顛末について近く書籍を刊行予定。

### ●武隈 喜一(たけくま きいち)



1957年東京生まれ。出版社、通信社勤務後、1994年から1999年までテレビ朝日モスクワ支局長。2016年から2021年までテレビ朝日アメリカ社長としてニューヨーク勤務。現在、ウェブサイト「テレ朝news」にウクライナ関連の記事を掲載中。著書「黒いロシア 白いロシア—アヴァンギャルドの記憶」、「マンハッタン極私的案内」、「絶望大国アメリカ—コロナ、トランプ、メディア戦争」(以上、水声社)